

第33回 日本社会福祉士会・全国大会 社会福祉士学会スケジュール表(島根大会)

第10回 日本社会福祉士会 全国大会 社会福祉士会大会(会場：大阪・)				第10回 日本社会福祉士会 全国大会 社会福祉士会大会(会場：大阪・)				
会 場	1F 多目的ホール	1F 小ホール	5F 501大会議室	会 場	3F 国際会議場	会 場	1F 大展示場(サブ会場)	1F 大展示場(メイン会場)
分科会	相談援助 / 権利擁護 / 地域支援	実践研究 / 福祉経営	実践研究	分科会	自主企画シンポジウム	分科会	ポスター発表	島根特別分科会
進 行	和田 亮二	松永 千恵子	溝淵 智則	進 行	金井 直子	進 行	吉田 祐一郎・葛西 孝幸	島根県社会福祉協議会・島根県社会福祉士会
	9:25～9:30	オリエンテーション	オリエンテーション	9:25～9:30	オリエンテーション	9:25～9:30	オリエンテーション	9:00～9:30 受付
1	9:30～10:00	【相談援助(研究)】 高次脳機能障害支援拠点機関の 社会福祉士の役割 —回復期から生活期移行後も 介入を継続した事例—	【実践研究(研究)】 知的障害者の意思決定支援における 相談支援従事者の役割構造 —地域移行に焦点をあてて—	【実践研究(研究)】 高齢者グループホームにおける 経営改善についての一考察 ～マッキンゼーの7Sモデルを用いて～	意思決定支援の潮流と わが国のソーシャルワークの可能性 —社会福祉士自身の脱領域的「場」の 参加形成から生じる社会生活実践知の創発— ○コーディネーター 菊池 健志(神奈川) ○シンポジスト 大出 智子 宇佐美 勇祐 佐藤 真希子 藤田 杏	9:25～9:30	< 1 : 相談援助(報告) > 新人社会福祉士が取り組む がんピア・サポーター活動 —実践力向上のための取り組み— ・発表者：南口 涼花(島根) ・共同研究者：今岡 佐織/横原 貴子	【地域共生社会推進セミナー】 ～地域共生社会の実現に向けた 包括的支援体制づくりと専門職の役割～ ----- 【目的】 地域共生社会の実現に向けては、住民一人ひとりが役割を担い ながら、世代や属性を超えてつながり合い、「支える」「支えられる」 関係性を築いていくことが重要である。また、その基盤となる包括的 支援体制の整備において、専門職の果たす役割がこれまで以上に 求められてくる。 本セミナーでは、地域共生社会の理念や制度の動向について理 解を深め、島根県内における実践の取組から学ぶことで、自らの地 域における実践や支援のあり方を考える契機とすることを目的とす る。
		発表者：後藤 敦博(岩手) 《共同研究者》 上田 大介/佐藤 義朝 阿部 深雪	発表者：立石 真司(岩手)	発表者：渡邊 裕文(大阪)			< 2 : 地域支援(報告) > オンラインサロンを活用した 専門職のネットワークづくり ～やまがたkaigoカフェの活動を通じて～ ・発表者：高木 知里(山形)	
2	10:05～10:35	【権利擁護(報告)】 日常生活自立支援事業生活支援員の 活動を支えるための取り組み ～ソーシャルサポートに 焦点をあてた実践から～	【実践研究(研究)】 日本の社会福祉士養成課程の テキスト分析 —反抑圧的ソーシャルワークの視点から—	【実践研究(報告)】 生きづらさに寄り添う 難聴者へのソーシャルスキルトレーニング	9:30～12:30	ポスター 掲示時間 第1日目 11:30～ 第2日目 12:30 発表者 対応時間 10:30～ 12:30 (※上記の時 間外は発表者 がいない場合 があります。)	< 3 : 地域支援(報告) > U市重層的支援体制整備事業における 参加支援事業の活動に見る 社会福祉士への期待 ・発表者：瀧崎 香織(栃木)	9:40～11:00 【講演】 「地域共生社会への包括的支援」 講師： 宮本 太郎 氏 (中央大学法学部 教授)
		発表者：澤田 麻理(島根) 《共同研究者》 川上 沙織	発表者：池田 しのぶ(新潟)	発表者：北澤 和美(神奈川) 《共同研究者》 中川 亜矢子/佐藤 聖子			< 4 : 実践研究(報告) > 県士会における実践研究支援の 取り組み報告 活動から見えてきた社会福祉士の課題 ・発表者：櫛木 博之(静岡)	
3	10:45～11:15	【地域支援(研究)】 地域共生社会における ソーシャルワーカーの現状と課題 ～基幹相談支援センターと 独立型社会福祉士に焦点をあてて～	【実践研究(研究)】 スーパーバイザー研修のモデル開発 —試行研修の評価—	【実践研究(研究)】 A県B市の日常生活自立支援事業の 課題と展望 ～契約者及び解約者の 動向分析を中心に～	休憩 10分	< 5 : 実践研究(報告) > 通いの場等の取組みを PDCAサイクルに沿って推進する実践的研究 都市型軽費老人ホームとの連携事例 ・発表者：小島 みさお(東京) ・共同研究者：小宮山 恵美/熊木 慶子 高木 貴美/田坂 強 小林 江里香	11:10～11:50 【実践報告】 コーディネーター： 加川 充浩 氏 (島根大学人間科学部 教授) コメンテーター： 宮本 太郎 氏 (中央大学法学部 教授) 報告① 「専門職による地域づくりの実践について」 報告者：松江市社会福祉協議会 地域福祉課 報告② 「相談支援体制の構築について」 報告者：益田市役所 福祉環境部 総合支援課	
		発表者：上野 晃司(栃木) 《共同研究者》 大石 剛史/飯島 恵子 豊田 喜代司/穂積 英男 稲見 聡/鈴木 寿弥 野口 悦紀/渡辺 修宏	発表者：岡田 まり(京都) 《共同研究者》 片岡 靖子/潮谷 恵美 野村 豊子	発表者：水口 貴仁(兵庫) 《共同研究者》 後藤 謹武/佐藤 純子				< 6 : 実践研究(報告) > スーパーバイザーの心理的安全性を 担保する取り組み ～埼玉県社会福祉士会 スーパーバイザー連絡会の現状と今後～ ・発表者：斎藤 美弥子(埼玉) ・共同研究者：田中 真弓/黒川 康子 長塩礼子
4	11:20～11:50	【地域支援(研究)】 共生社会に向けたシビックプライドを育む 『地域今昔双六』の制作 ～地域への愛着と 福祉活動の連携に焦点をあてて～	【福祉経営(研究)】 基礎研修の受講動機と 研修プログラムに対する評価	【実践研究(報告)】 実習現場で起きている 社会福祉士養成の課題 ～新カリキュラムで聴こえてきた 学生の言葉をもとに～	休憩 10分	< 7 : 実践研究(報告) > 起立性調節障害者の会A会が行った 学校職員と保護者の関係性づくりの実践 ～関係者間の相互理解に向けた 社会福祉士の視点からのアプローチ～ ・発表者：平野 直美(大阪)	12:30 閉会	
		発表者：西川 ハンナ(埼玉) 《共同研究者》 安藤 幸	発表者：今宮 康雄(広島) 《共同研究者》 田中 聡子	発表者：小代 桜(広島)				
5	12:00～12:30	【福祉経営(報告)】 埼玉県社会福祉士会のホームレス支援活動 委託事業終了後の県士会活動の展開	【実践研究(研究)】 ソーシャルワーク専門職に対する 学生の認識 —社会福祉士と精神保健福祉士の 同異点からの分析—	発表者：指崎 千尋(奈良)				
		発表者：田中 満枝(埼玉) 《共同研究者》 光成 智美/阿部 清美 安齋 弓美子/小熊 永恵 佐藤 弘恵						